

◎生活・総合的な学習の時間部門

1 行事及び内容

(1) 第1回研究委員会

- ① 日時：平成27年7月2日（木）15：00～16：30
- ② 場所：天草教育会館
- ③ 内容：研究の方向性確認および年間計画作成

(2) 第2回研究委員会

- ① 日時：平成27年8月20日（木）14：30～16：30
- ② 場所：天草教育会館
- ③ 内容：授業づくり研究会の準備について

(3) 第3回研究委員会

- ① 日時：平成27年12月15日（火）15：00～16：30
- ② 場所：天草教育会館
- ③ 内容：「講話と授業づくり研究会」

2 本年度の研究について

(1) 研究の概要

今年度は、講話会「よりよい授業づくり研究会」を行った。内容は、

「思考を深める生活・総合的な学習の時間」

～アクティブラーニング、思考ツールの活用～

講師 熊本市立楡の木小学校 山本 幸恵教諭

参加者は、18名程度であった。はじめに、講話を60分行い、協議を20分行った。地域人材活用や、統合した学校の総合的な学習の時間の地域との連携、授業づくりのポイントなどについて、質疑が出された。

(2) 研究の成果

講師の山本教諭の研究は深く、お話は大変授業づくりに役立つものとなった。

講師の先生は、熊本県の生活・総合的な学習の時間研究会の県の研究部長として、活躍されている。

思考を深める生活・総合的な学習の時間の授業づくりをするには、アクティブラーニングなど、思考ツールの活用をすることが大事というお話だった。これまでに身に付けた知識・技能を実生活で活用する能力のことを「汎用的能力」といい、知識・技能や思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力、学習意欲を高めることで、汎用的能力の基礎を養うというものであった。さまざまな思考ツールも教えていただいた。

また、授業づくりの視点として、4つの視点があり、①主体的に学ぶ探究的な学習展開の工夫 ②共に学び合う協働的な学習展開の工夫 ③思考ツールの効果的な活用 ④達成感をもたせ、学ぼうとする力を育てる評価の工夫について教えていただいた。今後の授業づくりに生かせると思う。

3 今後の課題

今年度は、県の生活・総合的な学習の時間の取組の方向を聞いてもらうよい機会となった。次年度は、今年度の課題を引き継ぎ、さらに質を深めていきたい。